

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 6 年 7 月 1 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471504039		
法人名	有限会社オリーブハウス		
事業所名	オリーブハウスやまもり		
所在地	広島県福山市駅家町上山守185-1 (電話) 084-959-5061		
自己評価作成日	令和6年6月5日	評価結果市町受理日	令和6年8月17日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3471504039-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3471504039-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和6年6月26日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>蔵王の街中から駅家ののどかな住宅街に移転し、一年が経ちました。以前よりも外に出やすくなり、地域との交流もしやすくなっているので、これからより地域との交流を増やしていきたい。</p>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>管理者が職員に聞き取りをしながら職員にこうなって欲しいという思いを込めて決めた、事業所独自の理念「お互いに思いやりを持つ」「自ら考え行動する力を養う」「一言一言を大切にする」「地域との関わりを大切にする」を柱に周知し、個々に目標を揚げ取り組み実践している。日々の介護の中で職員の意見やアイデアが現場の声として取り入れられる職場環境づくりを整備している。利用者が和やかで我が家のように過ごしやすく、家族も気軽に訪問しやすい支援に取り組んでいる。医療協力機関の受診支援や訪問診療、看護師による健康管理を行い、適切な医療が受けられるよう支援している。面会や家族会、運営推進会議構成員との情報共有や意見交換を行い、貴重な意見や提案が反映に活かせるよう努めている。今後は地域との交流の場を広げ、災害時の協力体制や回覧板を通じての行事やイベント参加など検討している。</p>
--

自己評価	外部評価	項目( グリーン )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	職員全員で話し合い決めた事業所独自の理念を掲げ、それを基に職員一人ひとりが年間目標を作成し、実践している。	家庭的な雰囲気の中で暮らしが送れるよう理念を設定し目に付く場所に提示している。日々ケアの中で職員個々に年間目標を決め、生活習慣や価値観を尊重したケアに取り組んでいる。月間目標を作成し、毎月の職員会議で検証を行い統一した支援を実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	町内会行事のとんど祭りに参加している。又、あいさつをして地域住民との交流に取り組んでいる。	町内会に加入し、回覧板の地域情報からとんど祭り、年2回の清掃活動に参加や出会った地域の方との挨拶など身近な所から交流をしている。地域の「ちょこつとサロン」の参加や地域の子供達との交流、イベントの回覧を回すなど世代を超えた繋がりができるよう検討している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方々の見学・入居相談を中心に、地域の福祉ニーズの把握に努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	地域包括支援センター・民生委員・近隣のグループホーム・行政担当者・家族等に呼びかけ、状況報告や意見交換をしている。	新型コロナウイルス感染症予防の為運営推進会議中止の時は書面での開催をしていたが、対面での開催を構成員出席で行い、利用状況、行事、ヒヤリハット・アクシデント報告など意見交換を行っている。ヒヤリハット・アクシデント報告様式の統一化や災害時の協力体制など意見が反映に活かせるよう努めている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	実際にあった事例や、制度に関するものなど、不明な点や相談がある場合は、電話または直接役場に伺い、相談することで連携をとっている。	介護保険改正後の不明な点や更新時など直接外向いたり、電話で相談を行い、助言や提案など頂き協力関係の構築に努めている。地域包括支援センターとは運営推進会議に参加もあり情報の共有や福山市生活福祉課の定期的な来訪により日頃の様子や状況報告を行っている。	

自己評価	外部評価	項目( グリーン )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	マニュアルを作成し、研修を行い、啓発に努めている。また、家族から安全のため拘束の要望があった場合は、その弊害を説明し、不必要だと思われる拘束に関しては、しない方向で話をしている。	身体拘束適正化対策委員会を設置している。マニュアルやeラーニングを視聴し身体拘束による弊害を認識し、全事業所全体で言葉による弊害を自己啓発して身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	資料を集め、マニュアルを作成し、研修を行い、自己啓発に努めている。また、職員間で虐待につながる行為がないか日々話し合っている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	資料を集め、マニュアルを作成し、それを基に学習している。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所時に、十分な説明を行い、理解、納得を図るのはもちろん、入居後も随時ご相談に応じている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会より広く意見を伺い、また、普段面会に来られた方からの意見、要望も現場に反映している。	日頃の様子を写真付きで次月行事やひと言を添えたオリーブハウス「オリーブ便り」を送付している。面会や家族会を開催し家族間の交流を行い、意見や要望を聞く機会を設け、迅速に対応できるよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目( グリーン )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回会議を開催している。会で決まったものは即実行している。又、スタッフに随時、面談等で意見をきいている。	毎月の職員会議で月ごとの目標の検証や個人面談で個人目標の進捗状況や希望休など話しやすい職場作りをしている。入浴の際、利用者の身体的な負担や安全面で福祉用具の提案など現場からの意見で話しやすい環境を整備している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の生活環境に即した働き方を推進しており、有給休暇も取りやすく、働きやすい職場作りに努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員同士で介護技術を日常チェックしあっている。又、外部研修への参加を行い、研修費や勤務扱いなどの援助をしている。資格取得のための自主的な研修などにも様々なバックアップ体制が整っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同業者ネットワークに積極的に参加している。また、スタッフの交流会も行い、質の向上に向けた取り組みを行っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	相談から利用に至るまでに、本人と面談し、話をお聞きすると共に、グループホームにも遊びに来て頂き環境を把握して頂く事で不安を取り除きつつ、要望をお聞きしている。		

自己評価	外部評価	項 目( グリーン )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	相談から利用に至るまで、家族の方々と面談し、連絡を取り合い、不安なこと等をお聞きしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談時に入居に対して緊急性があるかどうか見極め、他のサービス利用も含めた対応を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	本人の出来ること、特技を発見し、スタッフで共有できるよう連絡ノートや会議、引き継ぎで伝えている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族も入居者を支えるチームの一員として、お互いに相談しあうことで関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	常時来客を受け入れたり、馴染みの場所への外出を行ったりと支援に努めている。	面会や電話、手紙を通じて交流を行っている。行きつけの美容院、訪問美容の来訪で顔なじみの関係や家族が散髪道具を持参し家族による整髪や家族と一緒に外出、外食でアイスクリームを食べるなど今まで行なってきた事、大切にしてきた馴染みの関係が途切れる事のないよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目( グリーン )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食事を作り、掃除、散歩、食事介助など、お互いが助け合って動いて頂けるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約が終了しても気軽に遊びに来て頂いている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の意見や要望をお聞きすると共に、行動や、しぐさから思いを探り、生活記録に記載している。又、家族より聞き取りをしている。	日頃のケアの中でコミュニケーションや会話の中で、分かりやすい言葉で声掛けを行い、表情や行動、仕草で思いや意向の把握している。知り得た情報は申し送りノートや生活記録に記載し、生活歴や家族からも傾聴し情報共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時、以前からの生活歴を把握し、ケアに活かしている。また、家族会や普段の面会時から意欲的に家族から聞き取りを行っている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	生活記録や申し送りノートなどにその日一日の過ごし方や心身状態などを記録し、把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目( グリーン )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b>  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	担当職員は利用者や家族と話し合い、他の職員の意見を取り入れ、計画作成者と共に介護計画を作成している。作成された介護計画は職員間で共有し、家族に説明し、理解を得ている。	担当職員が日頃のケアの中で要望や家族からの意向の把握をし、他の職員の意見や提案が反映した介護計画を作成している。4ヶ月毎に振り返り、モニタリングを行い見直しを行っている。帰宅願望の利用者に家族の協力でドライブ等で関係性が保てるよう現状に即した介護計画を作成している。	
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b>  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の生活記録をタブレットに記録し、さらに申し送りや連絡ノートで情報を共有し、いつでも内容が確認できるようにしている。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b>  本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	利用者の通院の支援を行っている。また、空き部屋がある場合にはショートステイの利用を出来るように、グループホームの多機能性を活かしている。		
29		<b>○地域資源との協働</b>  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の方々がボランティアに来てくださり、入居者の意向に合わせた活動を行って頂いている。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診支援</b>  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	本人や家族の希望を受け、かかりつけ医の受診支援を行っており、利用者の状態によって往診して頂いている。入院手続きなども必要に応じて行い、利用者が安心して暮らせるように支援している。	契約時かかりつけ医の説明、確認を行い以前のかかりつけ医の紹介状で事業所の協力医療機関のかかりつけ医に移行になる。協力医療機関の受診は職員が同行支援を行い状態によっては訪問診療をしている。系列事業所の看護師が週1回健康管理をしている。希望で訪問歯科の受診も可能である。	

自己評価	外部評価	項目( グリーン )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b>  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	協力医療機関、利用者をよく知る看護師と相談しながら、日常の健康管理などの支援を行っている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b>  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療ソーシャルワーカーと入院月から連携を取っている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b>  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	利用開始時に重度化や終末期に向けた方針を話し合っている。必要が生じた時点で再度話し合いを繰り返し、関係者全員の方針の共有を図っている。	契約時、重度化や終末期に向けての方針の説明をしている。看取りの事例はないが、重度化や看取りの段階が生じた時は、再度話し合いを行い、多職種の意見や提案など情報を共有し、方針を決めチームが一丸となり、利用者、家族に寄り添う支援に取り組めるよう看取り研修を行い実践している。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b>  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時に対応処置が出来る、緊急時マニュアルを作成し、定期的に訓練を行っている。		
35	13	<b>○災害対策</b>  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回、日中、夜間等も想定して避難訓練を行い、利用者、職員だけでなく、地域住民も参加したり、消防署員に立ち会って頂いたり、連携を図りながら取り組んでいる。	年2回避難訓練を利用者と一緒に行っている。非常時の連絡網整備や訓練の際は役割分担を行い、避難誘導や消火器の使用手順など災害に備えての訓練をしている。運営推進会議開催時に災害時の近隣住民の協力体制の要請に努めている。	

自己評価	外部評価	項目( グリーン )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	管理者や職員は利用者を尊重し信頼関係を築いている。声かけに注意し、誇りやプライバシーを損ねないように対応している。記録などの取り扱いも適切に行っている。	一人ひとりの意見や思いをその人に合わせたペースで声掛けを行い、人格の尊重やプライバシーの確保に努めている。名字での呼称や記録は個々に合った方法で工夫をしている。トイレ時の声掛けなど羞恥心に配慮し、誇りやプライドを損ねる事のないよう努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の思いや意見をその人に合わせたペースで傾聴したり、表情から読み取っていくことで把握に努め日常生活をする上で、強制はせず、本人の意思を聞き、行動して頂いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	起きる時間や食事の時間は、ある程度決まってはいるが、強制はせず、その人の時間に合わせている。また、レク等日中の過ごし方は、本人に希望を聞いてから取り組むようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	朝起きた時には洗顔をして頂き、出来ない利用者に対しては、暖かいタオルで顔を拭く支援をしている。洋服は、上着のコーディネートは色合いや着合わせ考えて選び、外出や行事の時には、出来るときには化粧をして頂く支援をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	下準備や盛り付け、食後は食器洗いやお膳下げ等を、一緒にしている。栄養バランスを考えながら同じメニューにならないよう工夫している。	3食手作りで献立や栄養バランスに工夫した食事を提供している。粉から作った手作り餃子や行事食のちらし寿司、食べたい物、誕生日ケーキ、おやつにホットケーキ、ドーナツなど食を楽しめる支援をしている。利用者の出来る事で皮むき、盛り付け、食器洗いやお盆拭きなど家事活動を職員と一緒にしている。	

自己評価	外部評価	項目( グリーン )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養のバランスを考えた献立により食事を作っている。個々に合った飲み物を用意し、飲んで頂いている。また、1日の食事量や水分量を記録、把握し、体調管理の支援を行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>必要に応じて、歯科往診で歯科医院の口腔ケアに来て頂いており、歯科医の指導のもと清潔を保持できるように、口腔ケアグッズなども本人に合った物を使用している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>トイレの声掛けにて自力で排泄して頂くように、個別の時間に合わせて声掛けをしている。また、利用者によっては、見守るだけの支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄間隔を把握し、個別に声掛け誘導を行い、布パンツが維持できている利用者もおり、トイレで座位姿勢での排泄支援を行っている。夜間のみポータブルトイレを使用している方もいる。起床時にコップ1杯の牛乳の飲用や1日2回の体操で便秘予防に取り組んでいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>起床時に牛乳を出している。声かけしたり飲めるものを提供して水分摂取を促している。また、1日2回体操をして体を動かして頂いている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>利用者のペースに合わせて急がせず、本人の動きに合わせて行っている。また、音楽を流したり入浴剤を使用してリラックスして入浴できるようにしている。</p>	<p>入浴は週2回を基本としている。体調や気分で日を変えるなど柔軟に対応している。入浴拒否の利用者が温泉好きの情報で浴室壁面に富士山の絵や音楽を流したり、入浴剤を入れるなどリラックスして入浴して貰えるよう工夫や入浴後の着換えは職員と選ぶなどして入浴が楽しめる支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( グリーン )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	日中帯でも横になりたい方がおられたら、自由に居室で休んで頂いている。また夜は、その人の生活習慣に合わせ、休まれる前にしていたことを一緒に行ったり、その方に合った就寝時間で休んで頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	スタッフ同士、薬の処方箋を確認し、毎食後、利用者到手渡しして誤薬がないようにしている。また、頓服等の薬が出た場合、フラツキ等の副作用を確認し、申し送りし流し、スタッフ同時注意しあっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	塗り絵の好きな方に塗り絵を提供して塗って頂いている。また、歌の好きな人にはカラオケをしたり音楽を流して一緒に歌っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	買物と一緒にいたり、ドライブして季節の花を見に行っている。また、家族に連絡をとり行きたい場所に連れて行って頂いている。	季節の花を見に車での外出や庭に出て花の水やり、日光浴や外気浴で陽ざしや風、作業車の動きや音など感じ、四季の移り変わりを感じる支援に取り組んでいる。又、家族の協力で外出や外食を楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	欲しいものがあれば、一緒に買い物に行ったり、行けない時はスタッフが買ってきている。		

自己評価	外部評価	項目( グリーン )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	利用者と家族がいつでも手紙のやり取りが出来たり、電話をして直接家族と話ができるように支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	食堂のスペースに、壁画や飾りを作成して季節感を味わっていただいている。また、音楽を流して心地よい時間を過ごしていただいている。	共有空間スペースのフロアはユニットの名前のようにそれぞれのユニットがグリーン、ピンクを基調に椅子やカーテンの色など揃えている。壁面に季節の展示物や利用者の似顔絵が飾ってある。席を移動し気の合う者同士の会話やソファ席で寛ぐなど、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	食堂には、利用者一人ひとりの座る席があり、自由に雑談、移動が出来るよう空間を広く確保している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人の使いなれたタンス、写真、飾り物などを持ち込んで頂いている。また、入口には、絵や写真、名前などを貼っている。	エアコン、ベッド、収納スペースのクローゼットを設置している。自宅で使い慣れた物や大切な品物を持参している。テレビ、椅子や机、旅行で購入したぬいぐるみ、遺影など身近な物や大切にしている物に囲まれ落ち着いて過ごせる居室づくりをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレは押し車が入れる広さがあり、床にはクッション材を使用。手すりを多く取り付け、環境面からも転倒を防いでいる。		

V アウトカム項目( グリーン ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(ピンク)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	職員全員で話し合い決めた事業所独自の理念を掲げ、それを基に職員一人ひとりが年間目標を作成し、実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会行事のとんど祭りに参加している。又、あいさつをして地域住民との交流に取り組んでいる。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方々の見学・入居相談を中心に、地域の福祉ニーズ把握に努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	包括支援センター・民生委員・近隣のグループホーム・行政担当者・家族等に呼びかけ、状況報告や意見交換をしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	実際にあった事例や、制度に関するものなど、不明な点や相談がある場合は、電話または直接役場に伺い、相談することで連携をとっている。		

自己評価	外部評価	項目(ピンク)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	マニュアルを作成し、研修を行い、啓発に努めている。また、家族から安全のため拘束の要望があった場合は、その弊害を説明し、不必要だと思われる拘束に関しては、しない方向で話をしている。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	資料を集め、マニュアルを作成し、研修を行い、事啓発に努めている。また、職員間で虐待につながる行為がないか日々話し合っている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	資料を集め、マニュアルを作成し、それを基に学習している。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所時に、十分な説明を行い、理解、納得を図るのはもちろん、入居後も随時ご相談に応じている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会より広く意見を伺い、また、普段面会に来られた方からの意見、要望も現場に反映している。		

自己評価	外部評価	項目(           ピンク           )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の(   )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回会議を開催している。会で決まったものは即実行している。又、スタッフに随時、面談等で意見をきいている。		
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の生活環境に即した働き方を推進しており、有給休暇も取りやすく、働きやすい職場作りに努めている。		
13		○職員を育てる取組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員同士で介護技術を日常チェックしあっている。又、外部研修への参加を積極的に行い、研修費や勤務扱いなどの援助をしている。資格取得のための自主的な研修などにも様々なバックアップ体制が整っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同業者ネットワークに積極的に参加している。また、スタッフの交流会も行い、質の向上に向けた取り組みを行っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	相談から利用に至るまでに、本人と面談し、話をお聞きすると共に、グループホームにも遊びに来て頂き環境を把握して頂く事で不安を取り除きつつ、要望をお聞きしている。		

自己評価	外部評価	項目(ピンク)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>相談から利用に至るまで、家族の方々と面談し、連絡を取り合い、不安なこと等をお聞きしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>相談時に入居に対して緊急性があるかどうか見極め、他のサービス利用も含めた対応を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>本人の出来ること、特技を発見し、スタッフ共有できるよう連絡ノートや会議、引き継ぎで伝えている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族も入居者を支えるチームの一員として、お互いに相談しあうことで関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>常時来客を受け入れたり、馴染みの場所への外出を行ったりと支援に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ピンク)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食事を作り、掃除、散歩、食事介助など、お互いが助け合って動いて頂けるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約が終了しても気軽に遊びに来て頂いている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の意見や要望をお聞きすると共に、行動や、しぐさから思いを探り、生活記録に記載している。又、家族より聞き取りをしている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時、以前からの生活歴を把握し、ケアに生かしている。また、家族会や普段の面会時から意欲的に家族から聞き取りを行っている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	生活記録や申し送りノートなどにその日一日の過ごし方や心身状態などを記録し、把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目(           ピンク           )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	担当職員は利用者や家族と話し合い、他の職員の意見を取り入れ、計画作成者と共に介護計画を作成している。作成された介護計画は職員間で共有し、家族に説明し、理解を得ている。		
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の生活記録をタブレットに記録し、さらに申し送りや連絡ノートで情報を共有し、いつでも内容が確認できるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	利用者の通院の支援を行っている。また、空き部屋がある場合にはショートステイの利用を出来るように、グループホームの多機能性を活かしている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の方々がボランティアに来てくださり、入居者の意向に合わせた活動を行って頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	本人や家族の希望を受け、かかりつけ医の受診支援を行っており、利用者の状態によって往診して頂いている。入院手続きなども必要に応じて行い、利用者が安心して暮らせるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目(           ピンク           )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の(   )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	協力医療機関、利用者をよく知る看護師と相談しながら、日常の健康管理などの支援を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療ソーシャルワーカーと入院月から連携を取っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	利用開始時に重度化や終末期に向けた方針を話し合っている。必要が生じた時点で再度話し合いを繰り返し、関係者全員の方針の共有を図っている。		
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時に対応処置が出来る、緊急時マニュアルを作成し、定期的に訓練を行っている。		
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回、日中、夜間等も想定して非難訓練を行い、利用者、職員だけでなく、地域住民に参加したり、消防署員に立ち会って頂いたり、連携を図りながら取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目(           ピンク           )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の(   )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	管理者や職員は利用者を尊重し信頼関係を築いている。声かけに注意し、誇りやプライバシーを損なわないよう対応している。記録などの取り扱いも適切に行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の思いや意見をその人に合わせたペースで傾聴したり、表情から読み取っていくことで把握に努め日常生活をする上で、強制はせず、本人の意思を聞き、行動して頂いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	起きる時間や食事の時間は、ある程度決まってはいるが、強制はせず、その人の時間に合わせている。また、レク等日中の過ごし方は、本人に希望を聞いてから取り組むようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	朝起きた時には洗顔をして頂き、出来ない利用者に対しては、暖かいタオルで顔を拭く支援をしている。洋服は、上着のコーディネートは色合いや着合わせ考えて選び、外出や行事の時には、出来る時には化粧をして頂く支援をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	下準備や盛り付け、食後は食器洗いやお膳下げ等を、一緒にしている。栄養バランスを考えながら同じメニューにならないよう工夫している。		

自己評価	外部評価	項目(           ピンク           )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の(    )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	栄養のバランスを考えた献立により食事を作っている。個々に合った飲み物を用意し、飲んで頂いている。また、1日の食事量や水分量を記録、把握し、体調管理の支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	必要に応じて，歯科往診で歯科医院の口腔ケアに来て頂いており，歯科医の指導のもと清潔を保持できるように，口腔ケアグッズなども本人に合った物を使用している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	トイレの声掛けにて自力で排泄して頂くように，個別の時間に合わせて声掛けをしている。また，利用者によっては，見守りだけの支援を行っている。		
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	起床時に牛乳を出している。声かけしたり飲めるものを提供して水分摂取を促している。また，1日2回体操をして体を動かして頂いている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。	利用者のペースに合わせて急がせず，本人の動きに合わせて行っている。また，音楽を流したり入浴剤を使用してリラックスして入浴できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(                   ピンク                   )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の(    )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	日中帯でも横になりたい方がおられたら、自由に居室で休んで頂いている。また夜は、その人の生活習慣に合わせ、休まれる前にしていたことを一緒に行ったり、その方に合った就寝時間で休んで頂いている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	スタッフ同士、薬の処方箋を確認し、毎食後、利用者到手渡しして誤薬がないようにしている。また、頓服等の薬が出た場合、フラツキ等の副作用を確認し、申し送りし流し、スタッフ同時注意しあっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	塗り絵の好きな方に塗り絵を提供して塗って頂いている。また、歌の好きな人にはカラオケをしたり音楽を流して一緒に歌っている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	買物と一緒にいたり、ドライブして季節の花を見に行っている。また、家族に連絡をとり行きたい場所に連れて行って頂いている。		
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	欲しいものがあれば、一緒に買い物に行ったり、行けない時はスタッフが買ってきている。		

自己評価	外部評価	項目(ピンク)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	利用者と家族がいつでも手紙のやり取りが出来たり、電話をして直接家族と話ができるように支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	食堂のスペースに、壁画や飾りを作成して季節感を味わっていただいている。また、音楽を流して心地よい時間を過ごしていただいている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	食堂には、利用者一人ひとりの座る席があり、自由に雑談、移動が出来るよう空間を広く確保している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人の使いなれたタンス、写真、飾り物、などを持ち込んで頂いている。また、入口には、絵や写真、名前などを貼っている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレは押し車が入れる広さがあり、床にはクッション材を使用。手すりを多く取り付け、環境面からも転倒を防いでいる。		

V アウトカム項目( <span style="color: pink;">   </span> ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 オリーブハウスやまもり

作成日 令和6年7月31日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域との連携があまり取れていない。	災害時の地域との協力体制を密にする。	施設の周りに新しい住宅が出来るので、施設を知ってもらうために行事や避難訓練などの参加をして頂く。施設からも地域の行事に参加していき、施設を知ってもらう取り組みを積極的に行い防災の協力をしていく。	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。